



開催報告

2015年 **8月8日(土)** 秋葉原UDX 4F・6F
10:00~19:00 開催 (開場 9:30)

ACF2015 の当日の様子・講義の動画やダイジェストムービーがこちらからご覧いただけます。

<http://www.cancernet.jp/acf/>



AKIBA Cancer Forum とは

近年のがん医療の進歩は著しく、臨床研究、各疾患における診療ガイドラインの整備等も進み、また新しい医療技術、医薬品の登場により、がん医療の個別化も進んでおり、患者がより良いがん医療を受ける環境になってきています。

しかしながら、未だ診療ガイドラインの普及や、がん医療の均てん化は十分でなく、更には、がん患者、家族は、がんの治療を行わない放置治療や、科学的根拠が不十分なサプリメント、代替療法など、いわゆるジャンク情報にもさらされています。

そのような観点より、日々進歩する各種疾患の最新がん医療情報、現在問題となっているがん医療のテーマを取り上げ、がんを「知り」、がんを「学び」、がん患者、家族、医療者が「集い」、勇気、希望が持てるフォーラムとすることを目的に、ひいては、がん対策基本計画にもある「がん患者を含む国民が、がんを知り、がん向き合い、がんに負けることのない社会」の実現に、少しでも資することを目的とし、去る2014年8月9日(土)秋葉原UDX4階フロア全ての9会場を用い、がん患者・家族・市民のためのフォーラムの第一回目となる「AKIBA Cancer Forum 2014」を開催しました。

第二回目となる今年、「AKIBA Cancer Forum 2015」は会場、プログラム共に規模を大きくし、より多くの方に、より有意義な情報をお届け出来るように計画いたしました。

【共催】新産業文化創出研究所 / UDX オープンカレッジ

【協力】NTT 都市開発 / 特定非営利活動法人日本肺癌学会 / 特定非営利活動法人神奈川胃癌ネット / 特定非営利活動法人神奈川標準的がん治療開発支援システム / 株式会社 STJ レンテック

【後援】東京都 / 千代田区 / 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター / 一般社団法人日本癌治療学会 / 公益社団法人日本臨床腫瘍学会 / 日本癌学会 / 一般社団法人日本乳癌学会 / 公益社団法人日本婦人科腫瘍学会 / 一般社団法人日本胃癌学会 / 日本頭頸部癌学会 / 特定非営利活動法人日本小児血液・がん学会 / 一般社団法人日本臨床試験学会 / 特定非営利活動法人日本緩和医療学会 / 公益社団法人日本放射線腫瘍学会 / 特定非営利活動法人日本肺癌学会 / 一般社団法人日本ペインクリニック学会 / 特定非営利活動法人西日本がん研究機構 / 特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構 / 特定非営利活動法人骨軟部肉腫治療研究会 / 大腸癌研究会 / 日本肝癌研究会 / 公益財団法人前立腺研究財団 / 公益財団法人日本対がん協会 / 特定非営利活動法人日本医療政策機構 / 公益社団法人日本医師会 / 公益社団法人東京都医師会 / 株式会社クリニカルトライアル / 国立研究開発法人科学技術振興機構 / 公益社団法人日本整形外科学会 / 日本癌局所療法研究会 / 特定非営利活動法人日本免疫学会 / 公益社団法人日本薬剤師会 / 一般社団法人日本病院薬剤師会 / 公益社団法人日本看護協会 / 公益財団法人先端医療振興財団 / 樋口宗孝がん研究基金



日本を代表する **がんの専門医**が大集結!!

たくさんの方のご参加、ありがとうございました!

開催概要

開催会場：**全 11 部屋**
 プログラム数：**69** (ステージ・医療機器展示含)
 無償でご講演頂いた講師陣：**総勢 72 名**
 運営 CNJ 及びボランティアスタッフ：**95 名**



実施概要

参加者数：**1,414 名**
 延べ参加者総数：**3,974 名**
 寄付総額：**593,524 円**
 (うち、Lemonade Stand: **128,989 円**)

サポーター・後援団体数：**36 団体**
 助成元：
 日本郵便株式会社 平成 27 年度年賀寄附金

AKIBA Cancer Forum 収支報告

※ AKIBA Cancer Forum 2015 は、講師・司会の皆さま、運営ボランティアの皆さまが無償でご協力くださったことにより、今年度も開催することができました。講師・司会・運営ボランティアの皆さまへ、この場を借りて御礼申し上げます。

収入の部

(単位：円)

項目	金額	摘要
自己資金	1,917,362	
助成金	5,000,000	日本郵便株式会社 平成 27 年度年賀寄附金
寄附金	593,524	当日、会場の募金箱・レモネードスタンド募金箱
(収入計)	7,510,886	

支出の部

(単位：円)

項目	金額	摘要
会場費・機材レンタル費	2,103,918	会場代・機材等レンタル代
事前準備・当日運営費	161,348	資材運搬・消耗品費
印刷・WEB 収録配信費	4,461,310	フライヤー・ポスター各 2 版、当日パンフレット、全部屋撮影、57 動画アップロード
通信費	402,110	ポスター・フライヤー発送費、交通費等
広報費	360,000	WEB・SNS 広告費
その他	22,200	ボランティア保険
※謝礼金	0	講師・司会
※ボランティアスタッフ	0	事前準備・当日運営ボランティアスタッフ
(支出計)	7,510,886	

※事前準備・当日運営に要した合計約 1,500 時間の事務局スタッフ人件費は含まれません。

4F AKIBA Cancer Forum 2015 全体プログラムスケジュール

時間	部屋	ネクスト1	ネクスト2	ネクスト3
10:00-10:50		乳がん治療最近の動向 中村 清吾 (昭和大学) 佐治 重衡 (福島県立医科大学) 林 直輝 (聖路加国際病院) 増田 紘子 (昭和大学)	前立腺がんの外科治療 堀江 重郎 (順天堂大学)	大腸がんの外科治療 板橋 道朗 (東京女子医科大学)
11:00-11:50			前立腺がんの薬物療法 赤倉 功一郎 (JCHO 東京新宿メディカルセンター)	大腸がんの薬物療法 吉野 孝之 (国立がん研究センター東病院)
12:00-12:50		肺がんの外科治療 (日本肺癌学会共催) 光富 徹哉 (近畿大学)	がんと在宅医療 佐々木 淳 (医療法人社団悠翔会)	肝臓がんの外科治療 国土 典宏 (東京大学)
13:00-13:50		肺がんの薬物療法 (日本肺癌学会共催) 滝口 裕一 (千葉大学)	がん医療と緩和ケア 岩瀬 哲 (東京大学医学部研究所附属病院)	肝臓がんの薬物療法 池田 公史 (国立がん研究センター東病院)
14:00-14:50		がんの臨床試験 (日本肺癌学会共催) 関 順彦 (帝京大学)	がんと家計 (がんと暮らしを考える会共催) 岡本 英夫 (ファイナンシャル・プランナー) 石田 周平 (社会保険労務士)	胃がん (共催: 神奈川胃癌ネット 神奈川標準的がん治療開発支援システム) 円谷 彰 (横浜市立大学附属市民総合医療センター) 木村 正之 (けいあいクリニック) 福永 哲 (順天堂大学医学部) 利野 靖 (横浜市立大学附属病院) 吉川 貴己 (神奈川県立がんセンター)
15:00-15:50		がん免疫療法 (日本肺癌学会共催) 佐々木 治一郎 (北里大学)	がんの放射線治療 唐澤 久美子 (東京女子医科大学)	
16:00-16:50		がんと医療費のこと 藤原 康弘 (国立がん研究センター中央病院)	がん疼痛治療科の最前線 服部 政治 (がん研有明病院)	がんと栄養 川口 美喜子 (大妻女子大学)
17:00-17:50		がんと漢方薬 今津 嘉宏 (芝大門いまづクリニック)	骨転移 篠田 裕介 (東京大学医学部附属病院)	がんと遺伝 湯浅 保仁 (東京医科歯科大学)
18:00-19:00				

時間	部屋	カンファレンス D	カンファレンス E	カンファレンス F
10:00-10:50		小児脳腫瘍 柳澤 隆昭 (東京慈恵会医科大学附属病院)	頭頸部がん 藤井 正人 (国立病院機構東京医療センター)	皮膚がん 山崎 直也 (国立がん研究センター中央病院)
11:00-11:50		小児血液がん・AYA 世代のがん 楠木 重範 (チャイルド・ケモ・クリニック)	甲状腺がん 杉谷 巖 (日本医科大学)	精巣腫瘍 中村 晃和 (京都府立医科大学)
12:00-12:50		がんと妊孕性 菊地 盤 (順天堂大学医学部附属浦安病院)	すい臓がん 古瀬 純司 (杏林大学医学部附属病院)	膀胱がん 菊地 栄次 (慶應義塾大学病院)
13:00-13:50		悪性リンパ腫 伊豆津 宏二 (虎の門病院)	胆道がん 古瀬 純司 (杏林大学医学部附属病院)	食道がん 小島 隆嗣 (国立がん研究センター東病院)
14:00-14:50		急性白血病 進藤 岳郎 (佐賀大学医学部附属病院)	乳房再建 関堂 充 (筑波大学附属病院)	腎がん 近藤 恒徳 (東京女子医科大学)
15:00-15:50		多発性骨髄腫 木崎 昌弘 (埼玉医科大学総合医療センター)	子宮体がん 上坊 敏子 (相模野病院)	脳腫瘍 宮北 康二 (国立がん研究センター中央病院)
16:00-16:50		慢性白血病 木村 晋也 (佐賀大学医学部附属病院)	子宮頸がん 上坊 敏子 (相模野病院)	骨軟部肉腫 川井 章 (国立がん研究センター中央病院)
17:00-17:50		骨髄異形成症候群 照井 康仁 (がん研有明病院)	卵巣がん 落合 和徳 (東京慈恵会医科大学附属病院)	胸腺腫 後藤 悌 (国立がん研究センター中央病院)

各セミナーの動画は、順次アキバキャンサーフォーラム WEB サイトより無料で視聴できます。

<http://www.cancernet.jp/acf/>

ゲストルーム E	ゲストルーム C	シアター	ギャラリー 1&2	ギャラリー 3
NPO Power Up Session!! 秋山 正子 (白十字訪問看護ステーション) 梅田 恵 (昭和大学) 鈴木 美穂 (maggie's tokyo) 河内山 信一 (シ・ファブイノベーションズ) 國村 三樹 (キャンサーネットジャパン)	プラチナメーク&フォトプログラム	10:00-11:50 映画《エンディングノート》(90min) トーク (20min) : [司会] 小林 美幸 [登壇者] 田村 建二 (医療サイト「アビタル」)	ギャラリー 1 総合受付	10:00-12:30 手術体験キッズセミナー 共催：神奈川胃癌NETS 神奈川標準的がん治療開発支援システム
BEC/CIN 活動報告		12:00-13:55 映画《50/50》(100min) トーク (20min) : [司会] 小林 美幸 [登壇者] 佐藤 崇宏		ギャラリー 2 展示ブース&ステージ ステージプロデュース 広瀬 真奈美 (キャンサーフィットネス)
がんサバイバーの声を聴こう Over Cancer Together ~がんを共にのりこえよう~	14:00-15:15 乳がんサバイバーのためのヨガ	14:00-16:12 映画《ぼくたちの家族》(117min)	がん100万人時代をどう生きるか!? 司会：橋本 佐与子 (MBS 毎日放送) 秋月 玲子 (厚生労働省) 安達 進 (アツヴィ合同会社) 勝俣 範之 (日本医科大学武蔵小杉病院) 鈴木 美穂 (maggie's tokyo) 関原 健夫 (日本対がん協会) 藤原 康弘 (国立がん研究センター中央病院) (五十音順)	
ウェブメディアにおけるがん情報発信を考える どうあるべきか? (どうなる?) インターネット上のがん医療情報の発信	15:40-16:55 すべてのがんサバイバーと家族のためのヨガ	16:20-17:51 映画《希望のちから》(91min)		閉会セッション

AKIBA Cancer Forum (ACF) 2016 実現のためご寄付をお願いいたします!

- クレジットカード決済
- 銀行お振込み
- 古本による寄付

詳細は、CNJ ホームページの「寄付をする」からご確認ください。

www.cancernet.jp/donation



岩瀬 哲 (いわせ さとる)
 NPO法人キャンサーネットジャパン 理事長
 東京大学医科学研究所附属病院 緩和医療科 特任講師

理事長からのコメント

CNJは昨年、初めてのチャレンジとして、AKIBA Cancer Forum(以下 ACF)を開催しました。

ACFを開催しようと考えたのは、肺がんや大腸がんなど罹患数の多いがんから、頭頸部がんや小児がん、血液がんなどの「希少がん」まで、私たちが伝えたい、伝えるべきことがたくさんある一方で、これらを別々に企画して実施するには、マンパワーや財源が不足するという現実があったからです。

そこで、秋葉原をがん情報発信基地に、1日で行えるだけたくさんの最新情報を専門家の講義という形で効率よく判りやすく届けよう、そんな思いで ACF は始動しました。各領域のがん治療の専門医がこれだけ集結し、患者・家族・一般向けに最新知識を届ける機会は、日本でも他に類をみません。今回 72名の講師の先生に無償でご講演をいただくお願いをしたのですが、どなたも快く協力くださいました。この場をお借りして、ご講義いただいた先生方に心より御礼申し上げます。

ACFにはもう一つの重要な目的として「集う」機会の提供があります。今年の ACF ではがん関係の患者団体、支援団体など 36 団体が参加、がん種の垣根を超えて互いに交流する場となりました。

「来年もまた ACF で会おう」と誓う参加者らの姿に励まされ、スタッフ一同、来年の実現に向けて、気持ちを新たに、鋭意準備を進めて参ります。

CNJ が NPO として設立して 14 年、ほんとうに紆余曲折がありました。初心を忘れることがないよう励まし合って参りました。

そして今回、我々は参加費無料の ACF 開催にこだわりました。結果、それを実現した訳ですが、その陰には、ボランティアで講義してくださった専門家の先生方、ACF ボランティアとして参加くださった皆さん、CNJ スタッフ、協賛くださった各団体・企業さまの想いが一つになったという真実があります。これが欠けても ACF を実現することはできませんでした。

我々 CNJ は、この一つになった想いを決して忘れることなく、あずはもつと良い活動ができるように精進して行きたいと思えます。来年の 8 月、また皆さんと秋葉原でお会いできることを祈って。

講義（ネクスト1・2・3／カンファレンスD・E・F）

疾患別セミナー

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 乳がん | 2. 肺がん |
| 3. 前立腺がん | 4. 大腸がん |
| 5. 胃がん | 6. 食道がん |
| 7. 肝臓がん | 8. 膵臓がん |
| 9. 胆道がん | 10. 頭頸部がん |
| 11. 甲状腺がん | 12. 子宮体がん |
| 13. 子宮頸がん | 14. 卵巣がん |
| 15. 皮膚がん | 16. 腎がん |
| 17. 膀胱がん | 18. 精巣腫瘍 |
| 19. 骨軟部肉腫 | 20. 胸腺腫 |
| 21. 脳腫瘍 | 22. 小児脳腫瘍 |
| 23. 小児血液がん | 24. 悪性リンパ腫 |
| 25. 急性白血病 | 26. 慢性白血病 |
| 27. 多発性骨髄腫 | 28. 骨髄異形成症候群 |



ご協力くださった先生からの感想

秋葉原でのフォーラムが大盛況となり多くの方々へさらに多くの正しい情報を拡散する礎となったことと思います。微力ですがお手伝い出来た事を心より感謝いたします。



芝大門いまづクリニック 院長 **今津 嘉宏先生**

会場に来られている方々の大変な熱気に圧倒されてしまいました。これだけの会を主催するのは本当に大変だったかと思えます。血液がんは頻度的には少ないのですが、それぞれの方々が多くの悩みを抱えておられます。日常の診療の中やこうしたセミナーなどを通して少しでもお役に立てればと考えております。



木崎 昌弘先生 埼玉医科大学総合医療センター血液内科 教授／診療部長

とても盛会であったと思います。参加の方々からの質問が難しく苦労しましたが、今の医療で不足しているところが再確認出来てよかったと思います。



東京医療センター 耳鼻咽喉科 部長 **藤井 正人先生**

大成功おめでとうございます。スタッフの方々の意識が高く気持ちよい会でした。質疑応答の質問紙もよかったです。



堀江 重郎先生 順天堂大学医学部附属順天堂病院 泌尿器科 教授

参加されている患者さんの明るさ、熱心さに感銘をうけました。こちら側も良い刺激をもらったと思いますし、このポジティブフィードバックを若い医師や医学生などにも伝えていくことが大事だと思いました。また日頃患者さんと接しない製薬のメーカーなどの方にも大きなモチベーションとなると思いました。



近畿大学医学部 外科学講座 呼吸器外科部門 主任教授 **光富 徹哉先生**

この度は、このような機会をいただきありがとうございます。皆様が、患者さんやご家族にとって、ますます重要な役割を果たしていかれることと確信いたします。



柳澤 隆昭先生 東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 診療副部長

少しでもお役に立てていれば幸いです。AKIBA Cancer Forum、患者さん、ご家族、医療者が、心をひとつにして同じ視線でがんに向かう、すばらしいForumだと思います。この会を計画、運営され、当日もお手伝いいただきましたCNJの方々、ボランティアの方々に心から敬服いたします。皆様とこのForumのますますの発展を祈念いたしております。



国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍科 外来医長 **川井 章先生**

テーマ別セミナー

- | | | |
|------------|---------------|----------------|
| 1. がんの臨床試験 | 2. がん免疫療法 | 3. がんと医療費のこと |
| 4. がんと漢方薬 | 5. がんと在宅医療 | 6. がん医療と緩和ケア |
| 7. がんの家計 | 8. がんの放射線療法 | 9. がん疼痛治療科の最前線 |
| 10. 骨転移 | 11. がんと栄養 | 12. がんと遺伝 |
| 13. がんと妊孕性 | 14. AYA 世代のがん | 15. 乳房再建 |



参加された方の感想、ご意見

【患者さん】

- 専門の先生のお話をわかりやすく身近に聞くことができとても良い機会でした。
- 自分のがんだけでなく、さまざまながんのことを知ることができました。
- 無料なのが信じられないくらい充実した内容でした。
- 美しく、綺麗で明るい女性患者の方にお会いし、お話でき、元気がでてまいりました。私もまだ頑張れそうで、働いたり、ほかの患者の方のために何かお役にたったりしたいです。
- とても充実したプログラムがたくさんあり、素晴らしいと思うのですが、参加したいセッションの時間が重なっていたり、移動の時間が短いので、思うように参加できず残念に思いました。
- みたいものが同時に行われていた。混んでいて座れなかった。早くネットにアップしてほしい。
- スマホでスライドを撮影する人が多かったのでちゃんと注意してほしい。スライドが切り替わる度にシャッター音があるので、不快です。メモを取れない事情がある方には有料で資料を販売するなど方法があるのではないのでしょうか？
- 皆様優しいばかりで、(会場がわからずウロウロしていましたら、ボランティアの方が案内してくださいました) 思い切って参加して本当に良かったと思います。来年も元気で参加させていただきたいと思います。参加費を払う形になっても良いと思います。(パンフレットを拝読しましたら赤字で大変とのこと、これだけの規模で有名な先生方にいらして頂くのでしたら我々が参加費を払わせて頂くのは当然だと思います) 今回は少しですが募金させていただきました。ありがとうございました。

【ご家族】

- 先週、家族ががんと診断され、我々にもできることはないかと考える中、このイベントを通じて多くの知識を得ることができました。戦っていく上での武器となりそうです。ありがとうございました。
- 忙しい。周囲の録音、シャッター音がうるさい。参加したい内容が同じ時間帯になってしまう。テーマを絞って毎年行ってもらうほうがいいかも、と感じました。

【医療関係者の方】

- 無料でここまで詳しいお話が聞けるのはすごいと思います。各がんブース、集約ブースと両方あるのが良かったです。ニーズに合わせられると思いました。
- 会場の混雑が多かったように思います。ドアが複数ある場合は入口と出口を分けてみるのも良いかと思えます。昼食時間が設けられておらず、会場でも食事ができなかつたので、持込ランチョンセミナーのような企画があっても良いのではないのでしょうか。食べそびれてしまい(魅力的な講演が多いので)お腹ペコペコです。終了時間をすぎても質問に答え続けていました。司会の方、タイムキーパーしっかりしてください。

【その他】

- 満員の会場の交通整理がうまく処理できてないことが残念です。
- 密度が濃いので時間がかぶります。2日間開催は無理でしょうか？ 寄付のアナウンスを繰り返すなら、100円でも200円でも寄付としての参加費をとったらどうでしょうか？
- キャンサーネットジャパンの活動を知り、深く敬意を持ちました。本日は所用で全て参加できませんでしたが、収録公開もあると聞き、ありがたく思います。
- 全部良かったと思う。ボランティア講師への感謝状もグッド。いろんな方の寄付や助成金でみんなが無料で参加できることを、今助けられている人がいづれ恩返しする流れができるとよいな、と思います。

ボランティアスタッフの感想

普段は病院でソーシャルワーカーをしておりますが、アキバキャンサーフォーラムに参加して1番良かったことは、様々な立場・背景の人たちが近い距離で、対等に接することが出来た点です。それぞれの立場で皆、何かしらの収穫があったのでは、と思います。病院外ならではの企画・雰囲気、生きる楽しみを感じたり、病気になったことに意味を見いだせたり、治療のモチベーションをもつことができればと願っています。

担当させて頂いた会場では、思いがけず、自分が患っているがん以外の話を聞く機会にも恵まれ、治療についてだけではなく、サバイバーとして社会生活を送る上での共通の問題点・課題などについても改めて考えさせられる良い機会となりました。

初めてお目にかかったボランティアさんと一日一緒に過ごして、大変気持ちよく楽しく過ごさせていただきました。また来年も会いましょうとお約束して別れました。来年もぜひお手伝いさせていただければと思います。

シアター Movie & TALK

シアターでは、がんを題材にした4本の映画「エンディングノート」「50/50」「ぼくたちの家族」「希望のちから」を放映し、計195名の方々が鑑賞されました。

「エンディングノート」の後はアナウンサーの小林美幸さんとアビタルの田村建二編集長のトーク、若者のがんを題材にした映画「50/50」の後は体験者の佐藤崇宏さんが小林さんと共に、自身の治療経験時を振り返りながらお話をされました。



© 2008 SONY PICTURES TELEVISION INC. ALL RIGHTS RESERVED.

© 2013『ぼくたちの家族』製作委員会

プラチナメイク&フォトプログラム 病気により忘れていた笑顔や優しさ、勇気を取り戻す

プラチナメイク&フォトプログラムは、がん体験者の方へプロの手でメイク・ヘアを施し、ウィッグ希望等の場合もご要望に応じて、プロのフォトグラファーの撮影による「とびっきり一枚」をプレゼントする企画として、今年は3回目の開催となりました。選考で決まった6名の方々に輝く笑顔を取り戻してもらえたと思います。

たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。引き続き来年も開催してほしいと、多くのご要望をいただきました。参加者とスタッフの感想や、当日の様子は、ティール&ホワイトリボンのウェブサイトにて公開いたします。



乳がんサバイバーのためのヨガ & すべてのがんサバイバーと家族のためのヨガ

今年の乳がんサバイバーのためのヨガは、術後間もない方も多く、加えて治療中や両側乳がんの方、骨転移のある方などもいらっしゃったので、術側の可動域や筋力に考慮し、強度を極力抑えながらも、参加者の方々が「やった感」を感じて頂けるようなプログラム構成にしました。終了後は多くの方に「楽しかった」「定期クラスに参加したい」などの声をいただきました。スタート前から、参加者同士で治療経緯など情報交換をしている様子もあり、「乳がんサバイバー限定クラス」の意義を感じました。

2本目の「すべてのがんサバイバーと家族のためのヨガ」は、親子や姉妹で参加された方もいて、終始ほのぼのとした雰囲気でした。ペアポーズやペアハンドヒーリングでは、皆さんの「気」が柔らかくひとつになり、とても素敵な時間でした。

参加して下さる皆さんの癒しの時間になるようにと、ただそれだけを考えて、気持ちを整えて臨みました。たくさん素敵な笑顔と、たくさん素敵な言葉を頂きました。ありがとうございました。



山内 やよい

早稲田大学大学院
スポーツ科学研究科博士後期課程

NPO Power Up Session!! (NPOに元気になってほしいセッション!!)

資金調達可能な、継続可能な、社会活動(NPO活動)を考える

少子高齢化、景気の低迷等、社会的課題の解決に使える公的な財源の伸びが見込めない中、NPO（非営利活動法人）への期待は高まっています。がん医療の領域においても、例外ではありません。このセッションでは、がん患者が自分を取り戻せるための空間やサポートを提供する英国の「マギーズセンター」を日本にも立ち上げようという「マギーズ東京プロジェクト」を事例に取り上げました。NPOに必要なCause・Mission・Vision、資金調達（ファンドレイジング）それぞれのテーマについて、クラウドファンディングの可能性や、マニュアルによらない看護など、マギーズ東京プロジェクトのチャレンジと今後の展望をうかがい、会場の参加者も巻き込んで“資金調達可能な、継続可能な、社会活動（NPO活動）”について議論しました。



がんサバイバーの声を聴こう

Over Cancer Together ~がんを共にのりこえよう~

がんサバイバーが声を発信することを支援し、その声を広く社会に伝える OCT(Over Cancer Together)プロジェクト。OCT サバイバー・スピーキング・セミナー卒業生の9人が登壇し、立場によって違うサバイバーの悩み、男女共にもつ妊孕性の悩み、就労のトラブルについて、自分の体験から感じたこと、その解決策の提案を発表しました。部屋に入りきらないほど多くの方がご来場くださり、サバイバーの声への関心の高さを実感しました。



ウェブメディアにおけるがん情報発信を考える

どうあるべきか? (どうなる?)
インターネット上のがん医療情報の発信

インターネット上には、正しく有益な情報がある一方、誤った情報、ともすると患者に有害な情報も溢れています。どのように正しい情報を必要とする人に届けるか、情報発信に取り組むメディアにとっても重要な課題であり、かつ、質を担保しながら情報発信活動を継続していくためには財源も欠かせません。このセッションでは、インターネット上でがん医療情報を発信する「オンコロ」、「Med エッジ」、「アピタル」、「がん情報サイト」の各メディア担当者らにより、取り組みや工夫が紹介され、異なる立場・組織から、いかに情報を届けるか、また財源確保などの課題について討議しました。



閉会セッション がん100万人時代をどう生きるか!?

ACF2015最後のセッションとなるこのセッションでは、がんをとりまく各界を代表する豪華な顔ぶれが一堂に会し、がんに関わる就労・教育、高額化する治療費などの課題について率直な議論が交わされました。そして、これらのがんの課題の解決に取り組むのは、ステージ上にいる人だけではなく、会場にいる一人一人であることを確認し、来年のACFに開催に向けての決意表明でACF2015閉会となりました。



ミニステージ

約 30 団体の患者会、支援団体、企業ブースが並ぶギャラリーに、ミニステージを用意し、エクササイズ、体操、ダンス、メイクレッスンやライブなどバラエティ溢れるプログラムをお届けしました。
最終プログラムでは、皆で歌って、踊って、大いに盛り上がりました！

ミニステージプログラム

- 12:00-12:30 **出展ブース紹介！！**
- 12:30-13:00 **小児がん支援のレモネードスタンド**
都立国際高校 有志の皆さん
- 13:00-13:30 **キャンサーリハビリエクササイズ**
広瀬 真奈美
- 13:30-14:00 **出展ブース紹介！！**
- 14:00-14:30 **がん患者さんのためのワンポイントメイクレッスン！**
山崎 多賀子
- 14:30-15:00 **がんになっても美しく見えるポーズと
写真の撮られ方講座**
浅井 香葉子
- 15:00-15:30 **『のの字の歌』**
体操乳がんバスターズ
- 15:30-16:00 **リンパカフェ『リンパ浮腫ケアについてお話ししよう！』**
田端 聡
- 16:00-16:30 **ベリーダンス**
セクシダイナマイトガールズ
- 16:30-17:00 **遠山麻蘭 トーク&ライブ**
遠山 麻蘭
- 17:00-17:30 **Sing together! Dance together!
Over Cancer Together!!—輪になって歌おう！踊ろう！—**
Japan for LIVESTRONG / Over Cancer Together



手術体験！キッズセミナー

共催：神奈川胃癌ネット /
神奈川標準的がん治療開発支援システム

キッズセミナーは神奈川胃癌ネットとの共催で、14名の外科医がサポートするなか、小学校5年生から高校2年生までの20名の子供達が、縫合結紮や電気メスなどの体験をしました。

子供達からは「手術の仕組みや手順が良く分かった。自分の今後の進路を決める良いきっかけになりました。」などの感想があり、保護者からも「普段は目にすることができない器具に触ることで医療の現実の一端を知り楽しそうでした。」とのコメントがありました。夏休みの思い出と合わせて多くの学びの場になったようです。



レモネードスタンド

都立国際高校2年生の有志の皆さんが、小児がん支援のレモネードスタンドを開催してくれました。約500杯の手作りレモネードを配ってくれました。当日は、小学生のキッズボランティアも加わり、「レモネードいかがですか?」「募金のご協力お願いします!」と、行き交う人に元気よく声をかけていました。128,989円の寄付が集まりました。



展示ブース

約30の患者会、支援団体、企業にブース出展いただき、アイスクリームや飲料の配布、ハンドマッサージ、メイクコーナーなど、ギャラリーは大変賑わいました。



展示ブース一覧

- 特定非営利活動法人日本肺癌学会
- がん情報のポータルサイト『オンコロ』
- 株式会社東京義髪整形
- テルモ株式会社
- 公益財団法人先端医療振興財団臨床研究情報センター
- リボンズケア umi (うみ)
- 特定非営利活動法人がんと暮らしを考える会
- ピアサポートよこはま
- 乳がん患者さんのためのワークショップ
「主治医に言うほどではないけど、なんかモヤモヤ〜な方、集まりませんか?の会」
- 肺がん患者の会 ワンステップ!
- Cava! (サヴァ) ~さいたま BEC ~
- 特定非営利活動法人希望の会
- メラノーマ患者会「Over The Rainbow」
- 特定非営利活動法人エンパワリング プレストキャンサー /E-BeC
- 特定非営利活動法人こどものちから
- 公益財団法人がんの子どもを守る会
- ジャパン・フォー・リブストロング (Japan for LIVE STRONG)
- 「頭頸部がん」患者会 えがおの会
- 認定特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
- 春ちゃんは元気です
- リンパカフェ
- 一般社団法人がんサーフィットネス
- 特定非営利活動法人 GISTERS
- 若年性乳がんサポートコミュニティ Pink Ring
- 公益社団法人日本オストミー協会
- ブーケ (若い女性オストメイトの会)
- 精巣腫瘍患者友の会 「J-TAG」
- 一般社団法人 Ring Smile

ブース参加者の声

- 初めて参加させていただき、規模の大きさに驚きました!
- ブースから拝見していると、患者さんにとって情報収集の場、交流の場となっていて、来られている方はイキイキしているようにも見えました。
- さまざまながん種がありますが、初めてお会いするがん種の方も大勢来られました。来年は、どんながん種の方が来られても対応できるように、スタッフを人選して迎えたいと思います。

書籍・冊子グッズ販売

当日はご登壇の先生方のご協力によりご著書19種類の販売があり売上の一部をご寄付いただきました。また各種ガイドライン6種・冊子19種、バッジなど啓発グッズ20種(ブルーリボン・ティール&ホワイトリボン・ペリウィンクルリボン)の販売やブースでは、著者との交流やサイン会が行われ、多くの方にお立ち寄りいただき大変賑わいました。

ご登壇頂いたみなさま



Special Thanks!